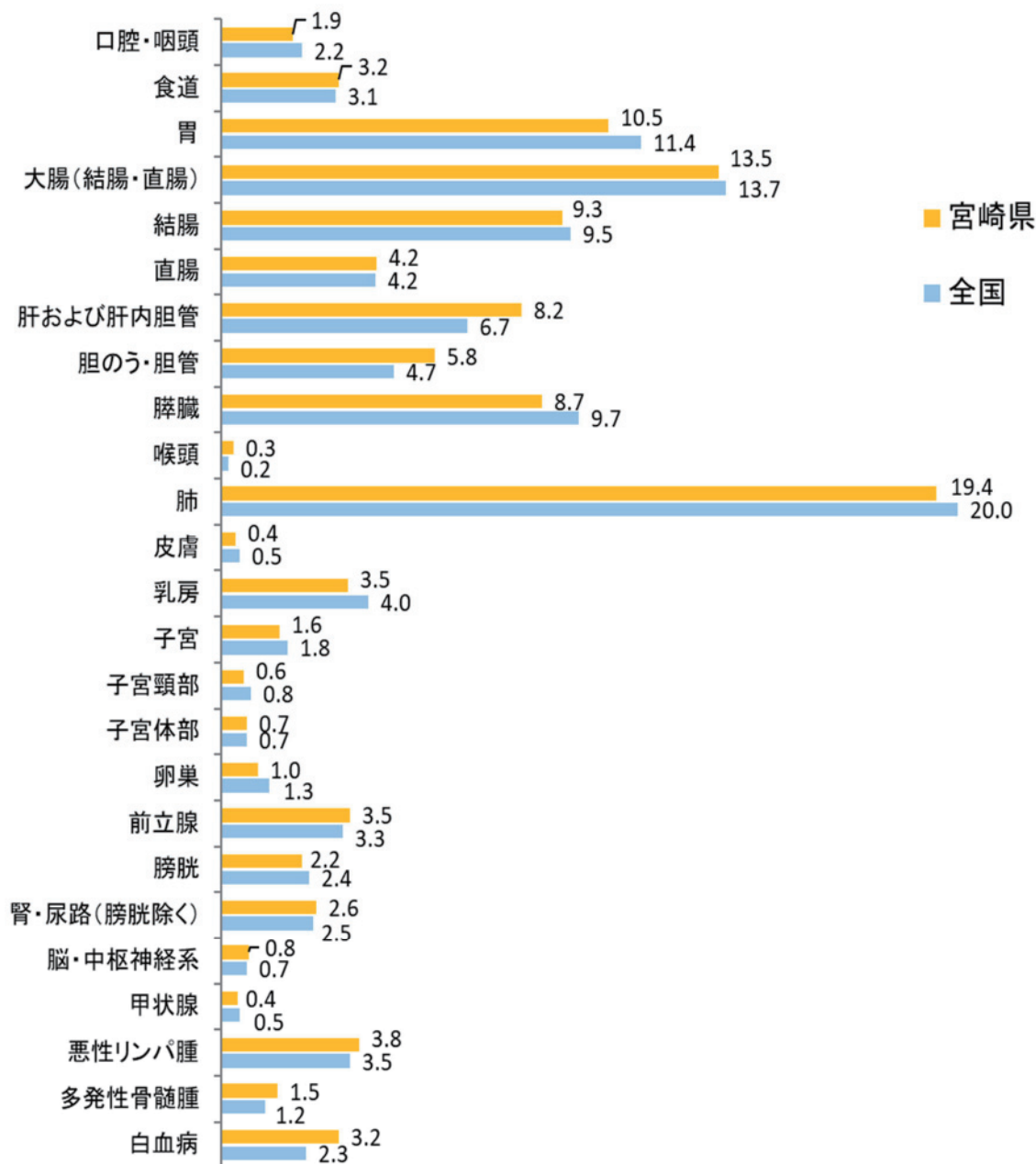


5 2019 年がん死亡の概要

(1) 全体の概要 : 表 9 から作成

2019 年宮崎県において、がんによる死亡は、男性 2,080 人、女性 1,513 人の合計 3,593 人であった。総計より、割合が高い部位は肺 19.4% であり、大腸（結腸・直腸）13.5%、胃 10.5% と続く。件数で見ると、男性では肺 493 件、胃 256 件、大腸（結腸・直腸）255 件が上位を占めており、前立腺は 126 件であった。女性では大腸（結腸・直腸）230 件、肺 205 件、膵臓 169 件が上位を占めており、乳房は 124 件であった。

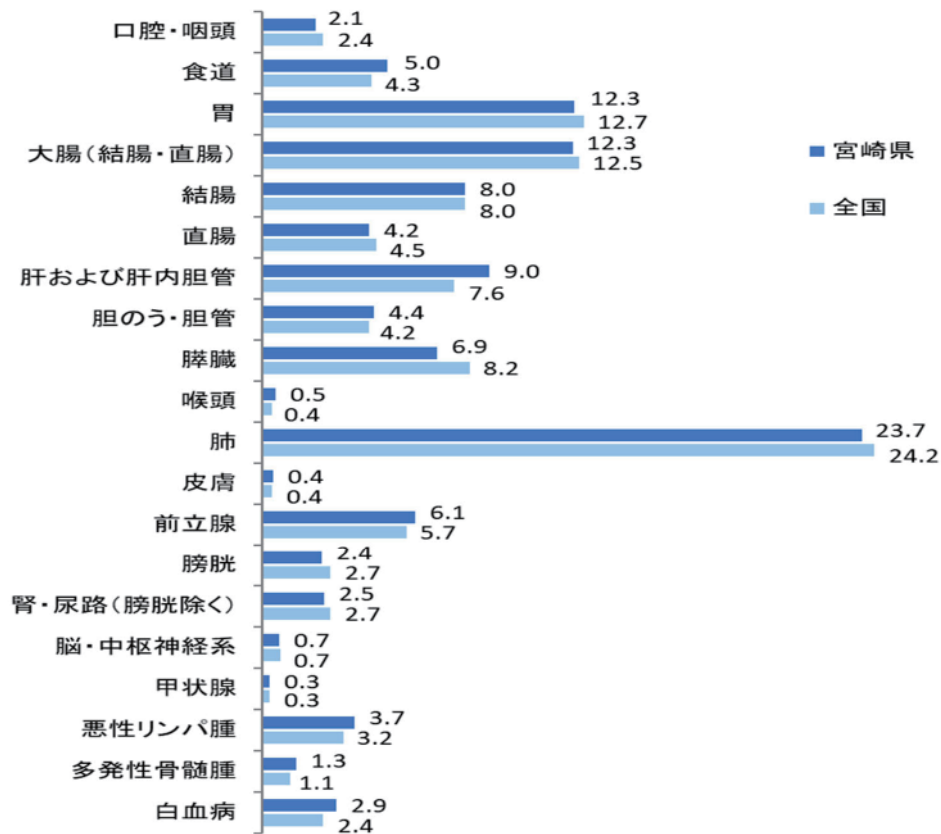
2019年死亡部位割合(%) (全国比較)



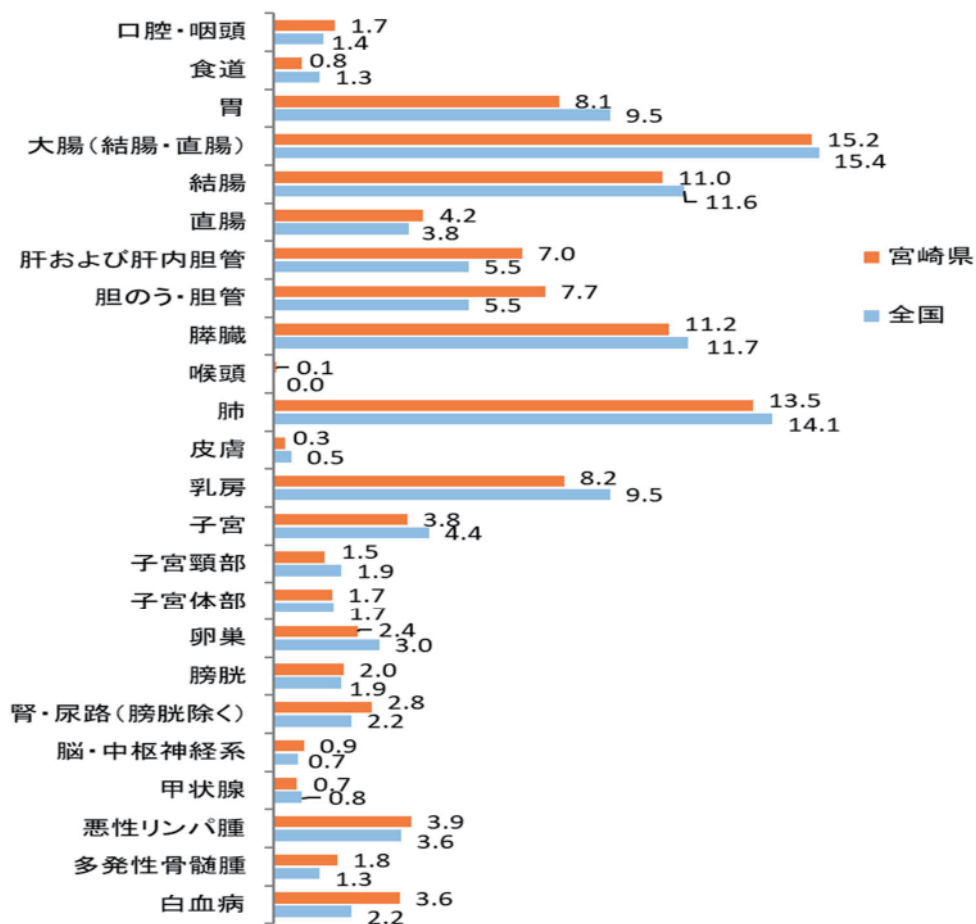
出典：全国値は、公益財団法人 がん研究振興財団 「がんの統計 2021」

2. ICD-10 三桁分類別がん死亡（死亡数・割合）（2019 年）から抜粋

男性 死亡部位割合(%) (全国比較)



女性 死亡部位割合(%) (全国比較)

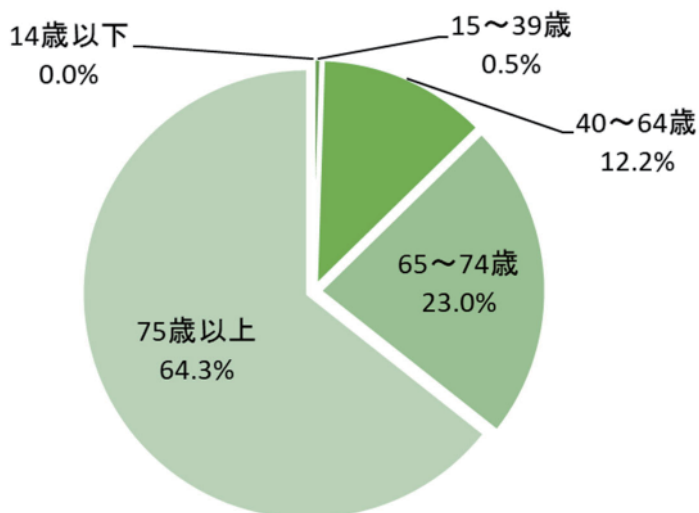


(2) 年齢階級別に見たがんの死亡 : 表 10 から作成

年齢階級別に見ると、75歳以上の割合は64.3%、65～74歳23.0%であった。

男性では、75歳以上が60.8%、女性では69.3%であった。部位別に見ると60歳から大腸(結腸・直腸)、肝および肝内胆管、肺の件数が多くなっており、65歳からは胃、膵臓も増加している。

全体(件)	
14歳以下	1
15～39歳	17
40～64歳	438
65～74歳	825
75歳以上	2,312
合計	3,593



男性(件)	
14歳以下	0
15～39歳	10
40～64歳	252
65～74歳	554
75歳以上	1,264
合計	2,080

女性(件)	
14歳以下	1
15～39歳	7
40～64歳	186
65～74歳	271
75歳以上	1,048
合計	1,513

